



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイフク

コード番号 6383 URL <http://www.daifuku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北條 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経本部長

(氏名) 木村 義久

TEL 06-6472-1261

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	50,368	10.4	1,118	543.7	1,400	—	956	—
25年3月期第1四半期	45,615	12.1	173	—	△32	—	△304	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 4,673百万円 (385.3%) 25年3月期第1四半期 962百万円 (65.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	8.65	—
25年3月期第1四半期	△2.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第1四半期	211,626	—	89,305	—	41.2	
25年3月期	206,875	—	85,685	—	40.4	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 87,126百万円 25年3月期 83,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	110,000	16.5	3,500	19.9	3,800	55.7	2,300	81.1	20.79
通期	225,000	11.2	9,500	18.6	9,000	12.5	5,500	23.9	49.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	113,671,494 株	25年3月期	113,671,494 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,026,077 株	25年3月期	3,022,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	110,646,373 株	25年3月期1Q	110,654,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで8月9日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の経済は、南欧債務問題に端を発する欧州の低迷、中国をはじめとする新興国経済の減速感の一方で、米国は民需回復をベースに底堅く推移し、わが国の経済も緩やかに回復しています。

当業界におきましては、競合状況は依然として厳しいものの、設備投資需要は改善しつつあります。

このような環境のもと、当社グループの業績は順調に進捗しています。受注は、一般製造業や流通業向けシステムの中国や韓国、台湾における大型案件などが寄与しました。自動車業界向けは前年同期のような大型受注はなかったものの、引き合いは活発で今後に期待が持てます。売上は、各業界向けともに、豊富な受注残をベースに堅調に推移しました。

この結果、受注高は62,685百万円（前年同四半期比11.1%増）、売上高は50,368百万円（前年同四半期比10.4%増）を計上しました。

利益につきましては、ダイフク単体におけるコスト改善、北米やアジアの子会社の業績向上が寄与しました。この結果、営業利益は1,118百万円（前年同四半期比543.7%増）となりました。また、円安による為替差益などにより、経常利益は1,400百万円（前年同四半期比1,433百万円増益）を計上しました。また、四半期純利益は956百万円（前年同四半期比1,261百万円増益）を計上しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。売上は外部顧客への売上高、セグメント利益（損失）は四半期純利益（損失）を記載しております。セグメントに関する詳細は、後記（セグメント情報）をご覧ください。

①株式会社ダイフク

《受注》

主力の一般製造業や流通業向け保管・搬送・仕分け・ピッキングシステムでは、農業、食品、医薬品、流通業向けの大型案件が堅調に推移しました。インターネット通販など無店舗販売向けの需要が伸びていますが、韓国のネットスーパーからも大型配送センターを受注しました。リーマンショック後に大きく落ち込んだ中小型システムも、着実に回復しています。

半導体工場向けシステムは、高水準の設備投資が行われた前年度に比べ減少しました。一方、低調な設備投資が続いていた液晶パネル工場向けは、中国向け案件が増加しています。

自動車生産ライン向けシステムは、北米、中国、東南アジアを中心とする引き合いが活発です。

《売上》

医薬、流通、農業、食品業界向けなどの国内大型案件が、堅調に推移しました。

半導体工場向けシステムの売上は韓国や北米、台湾向け案件が堅調に推移しました。液晶パネル工場向けは、中国向けの一部が売上に寄与し始めました。

自動車生産ライン向けシステムは、豊富な受注残に加え、国内の小規模改造案件が伸びたことにより、順調に推移しています。

洗車機は、SS（サービスステーション）業界向けが昨年に引き続き好調です。CA（カーアフターマーケット）業界は、カーディーラー市場の底堅い需要のもと、着実に販売実績を重ねています。

福祉車両搭載の車椅子用リヤリフトも、高齢化社会を背景に、堅調に進捗しています。

《利益》

前年度に引き続きコストダウンが進んだことにより、セグメント利益が黒字に転じました。

以上の結果、受注高は26,301百万円（前年同四半期比3.9%減）、売上高は24,645百万円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益は675百万円（前年同四半期比891百万円増益）となりました。

②コンテックグループ

デバイス製品及びシステム製品の売上は、景気回復の期待感はあるものの、企業の国内設備投資が本格回復に至っておらず、昨年と比べて減少いたしました。

太陽光発電計測関連製品の売上は、引続き好調に推移いたしました。現在、メガソーラー（大規模な太陽光発電）関連の案件が堅調で、さらなる受注獲得に向けて営業活動を強化してまいります。

この結果、受注高は3,656百万円（前年同四半期比83.0%増）、売上高は2,626百万円（前年同四半期比44.3%増）、セグメント損失は181百万円（前年同四半期比76百万円減益）となりました。

③DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY (DWHC) グループ

DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY (DWHC) は、北米の事業を統括する会社で、傘下にウェブ社、ダイフクアメリカ、ELS HOLDING COMPANY（以下、ELS社）を置き、北米の経営資源を効率的に運用しています。

受注は前年同期のような大型案件がなかったものの、売上は堅調に推移しました。また、プロジェクト管理の徹底などが奏功して、セグメント利益を改善することができました。

自動車生産ライン向けシステムでは北米市場の需要回復に伴い、日系自動車メーカーの改造案件などが好調でした。半導体メーカー向けシステムは、窒素パージストッカーなどを着実に受注しています。一般製造業向けシステムでは、日系案件が増加しています。

空港手荷物搬送システムは、オペレーション&メンテナンスを行うELS社を連結したことが業績に寄与しました。下期には、複数の大型案件の受注が期待できます。

この結果、受注高は11,123百万円（前年同四半期比29.0%減）、売上高は11,315百万円（前年同四半期比59.1%増）、セグメント利益は222百万円（前年同四半期比212百万円増益）を計上しました。

④その他

「その他」は、上記3社以外の国内外の子会社であります。当社グループを構成する連結子会社は49社です。「その他」に含まれる主なものとしては、国内では、洗車機やボウリング関連製品の販売等を行う株式会社ダイフクプラスモアなどがあります。

主要な海外現地法人としては、大福（中国）有限公司、DAIFUKU KOREA CO., LTD.、CLEAN FACTOMATION, INC.（韓国）、台湾大福高科技設備股分有限公司、DAIFUKU (THAILAND) LTD. などがあり、主にマテリアルハンドリングシステム・機器の製造・販売等を行っています。各社とも、グローバルな最適生産・調達体制の一翼を担い、国外への輸出も増やしています。

総じて、アジアの海外子会社を中心に業績は順調に推移しています。

中国では主として現地系、欧米系企業の活発な投資に支えられ、食品、飲料、医薬、製紙、流通などの業界で受注が好調裡に推移しました。液晶・半導体業界向けでは、ユーザーの生産拡大

をにらんで設立した大福自動搬送設備（蘇州）有限公司が3月から生産を開始し、連結対象となりました。自動車業界向けは中国国内はもとより、コスト競争力を生かして米州やアジアへの輸出も伸びています。

台湾は、半導体業界向けに加えて、製紙業界向けの大型受注が寄与しています。

韓国では、半導体工場向けの投資が、今後活発化していく見込みです。自動車工場向けは、韓国自動車メーカーの韓国内改造工事や中国現地生産需要を取り込んでいきます。また、昨年当社グループの傘下に入った洗車機製造・販売のHALLIM MACHINERY CO., LTD. は、当四半期連結会計期間から連結対象となっています。

タイやインドネシアでは、引き続き、日系自動車メーカーの設備投資が活発で、タイ現地法人の工場はフル生産を続けています。また、食品業界を中心に自動倉庫の引き合いが活発になっています。

欧州やアフリカでは、LOGAN TELEFLEX (UK) LTD. と LOGAN TELEFLEX (FRANCE) S. A. S. が空港手荷物搬送システムの受注活動を進めています。

この結果、受注高は21,602百万円（前年同四半期比89.5%増）、売上高は12,965百万円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益は691百万円（前年同四半期比19.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部について

当第1四半期連結会計期間末における総資産は211,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,751百万円増加いたしました。これは現金及び預金が3,477百万円増加したことと、未成工事支出金等が2,125百万円増加したことが主な要因であります。

②負債の部について

当第1四半期連結会計期間末における負債は122,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,131百万円増加いたしました。これは支払手形・工事未払金等が1,721百万円減少した一方、退職給付引当金等の固定負債が613百万円増加し、未成工事請求超過高などの流動負債のその他が1,778百万円増加したことが主な要因であります。

③純資産の部について

当第1四半期連結会計期間末における純資産は89,305百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,619百万円増加いたしました。これは保有する有価証券や為替の変動等によるその他の包括利益累計額合計が3,670百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成25年5月14日に発表した平成26年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想数値に修正を加えております。詳細につきましては、本日別途発表いたしました資料をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,735	37,212
受取手形・完成工事未収入金等	68,826	62,927
商品及び製品	3,368	3,772
未成工事支出金等	5,751	7,877
原材料及び貯蔵品	8,484	8,955
その他	19,769	22,900
貸倒引当金	△105	△112
流動資産合計	139,831	143,532
固定資産		
有形固定資産	31,297	32,014
無形固定資産		
のれん	5,768	6,835
その他	3,266	3,224
無形固定資産合計	9,035	10,059
投資その他の資産		
その他	26,860	26,171
貸倒引当金	△148	△151
投資その他の資産合計	26,711	26,020
固定資産合計	67,044	68,093
資産合計	206,875	211,626
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	36,553	34,832
短期借入金	28,221	28,691
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
未払法人税等	1,416	1,577
工事損失引当金	739	569
その他	21,066	22,845
流動負債合計	93,998	94,516
固定負債		
長期借入金	19,163	19,130
退職給付引当金	4,712	5,109
その他	3,315	3,564
固定負債合計	27,191	27,805
負債合計	121,190	122,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,024	8,024
資本剰余金	9,028	9,028
利益剰余金	69,859	69,779
自己株式	△2,424	△2,427
株主資本合計	84,486	84,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,809	2,490
繰延ヘッジ損益	△14	△3
為替換算調整勘定	△2,743	234
その他の包括利益累計額合計	△948	2,721
少数株主持分	2,147	2,178
純資産合計	85,685	89,305
負債純資産合計	206,875	211,626

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	45,615	50,368
売上原価	38,302	41,264
売上総利益	7,312	9,104
販売費及び一般管理費		
販売費	3,579	3,741
一般管理費	3,558	4,244
販売費及び一般管理費合計	7,138	7,985
営業利益	173	1,118
営業外収益		
受取利息	18	54
受取配当金	141	127
為替差益	—	164
受取賃貸料	58	57
その他	53	91
営業外収益合計	272	495
営業外費用		
支払利息	217	198
為替差損	174	—
その他	87	15
営業外費用合計	478	213
経常利益又は経常損失(△)	△32	1,400
特別利益		
その他	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	35	9
投資有価証券評価損	54	2
関係会社株式売却損	—	3
その他	4	0
特別損失合計	95	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△125	1,386
法人税、住民税及び事業税	482	1,560
法人税等調整額	△292	△1,078
法人税等合計	190	482
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△315	904
少数株主損失(△)	△11	△52
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△304	956

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損失(△)	△11	△52
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△315	904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△404	692
繰延ヘッジ損益	12	△2
為替換算調整勘定	1,643	2,645
持分法適用会社に対する持分相当額	26	434
その他の包括利益合計	1,278	3,769
四半期包括利益	962	4,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	937	4,627
少数株主に係る四半期包括利益	25	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DWHC	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,184	1,820	7,111	33,117	11,333	44,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,800	2,109	61	8,971	2,357	11,328
計	30,984	3,930	7,173	42,088	13,691	55,779
セグメント利益又は損失(△)	△216	△104	10	△310	576	265

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	42,088
「その他」の区分の売上高	13,691
セグメント間取引消去	△11,328
工事進行基準売上高の連結上の調整額	1,359
その他の連結上の調整額	△195
四半期連結財務諸表の売上高	45,615

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△310
「その他」の区分の利益	576
関係会社からの配当金の消去	△132
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△238
その他の連結上の調整額	△199
四半期連結財務諸表の四半期純損失(△)	△304

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DWHC	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,645	2,626	11,315	38,587	12,965	51,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,702	1,664	776	7,143	2,368	9,511
計	29,348	4,291	12,091	45,731	15,334	61,065
セグメント利益又は損失 (△)	675	△181	222	716	691	1,408

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	45,731
「その他」の区分の売上高	15,334
セグメント間取引消去	△9,511
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△547
その他の連結上の調整額	△637
四半期連結財務諸表の売上高	50,368

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	716
「その他」の区分の利益	691
関係会社からの配当金の消去	△49
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△108
その他の連結上の調整額	△293
四半期連結財務諸表の四半期純利益	956

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。